

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人
紫波町社会福祉協議会

目 次

第1 法人運営	1	第9 介護保険事業	9
1 組 織		1 居宅介護支援事業	
2 会 費	2	2 訪問介護事業	
第2 福祉基金保有高		第10 障害者自立支援事業	10
第3 会議・監査会の開催状況		1 障害者居宅介護事業（ヘルパー派遣）	
1 理事会		2 就労継続支援事業所「けやき学園」	
2 評議員会	3	3 就労継続支援事業所「さくら製作所」	
3 監査会		第11 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の推進	
4 評議員選任・解任委員会		第12 団体事業への支援	
5 社会福祉法人制度改革研修会		希望郷いわて大会、県更生保護女性大会	
第4 福祉活動推進事業			
1 広 報		虹の保育園	
2 金婚を祝う会	4	1 保育実務状況	12
3 福祉用具の貸出		2 特別保育実施状況	13
4 日常生活自立支援事業の支援		3 防災訓練・交通安全教室実施状況	
5 福祉団体活動支援		4 給食実施状況	14
第5 ボランティアセンター事業		5 衛生状況	15
1 手話講座		6 児童の健康診断実施状況	
2 お話し相手ボランティア	5	7 保護者との連携	
3 配食ボランティア		8 地域交流	16
4 高齢者サロン「いこいの家」ボランティア		9 職員の資質向上のための研修	
5 ボランティア活動保険加入状況		10 諸会議の開催及び参加	
6 東日本大震災・豪雨被災地支援		11 視察、実習生の受入	17
第6 共同募金配分事業	6		
1 地域交流イベント「ふれあいフェスタ」		地域子育て支援センター	18
2 ボランティア協力校の指定		1 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進	19
3 各種団体助成		2 子育て等に関する相談・援助の実施	
第7 紫波町受託事業		3 地域の子育て関連情報の提供	
1 無料相談事業「ふれあい相談所」		4 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施	
2 移送サービス	7	5 地域支援活動の実施	20
3 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」		6 世代間交流	
4 高齢者サロン「いこいの家」助成事業		7 特別支援活動の実施	21
5 高齢者ふれあい交流会			
6 生活指導員派遣事業（ヘルパー派遣）	8	けやき学園	
7 障害者外出介助事業（ガイドヘルパー派遣）		1 事業所運営に関すること	23
8 障がい者スポーツ交流会		2 利用者支援に関すること	24
9 虹の保育園		3 その他の事業・活動について	25
10 地域子育て支援センター			
第8 資金貸付事業		さくら製作所	
1 たすけあい金庫		1 事業運営に関すること	25
2 生活福祉資金		2 利用者支援に関すること	
		3 生産活動の状況	26
		4 その他の事業・活動について	

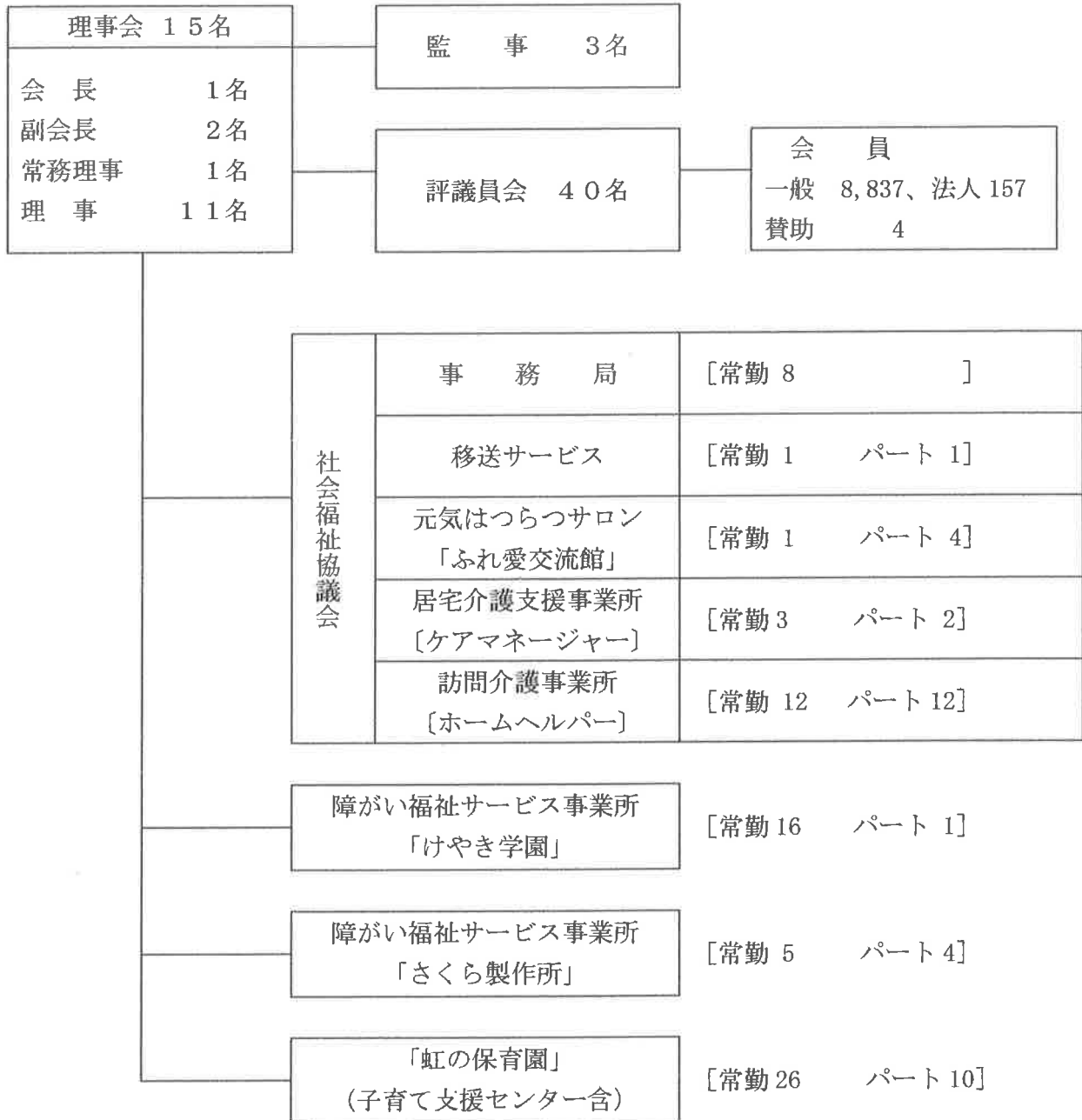
平成28年度

紫波町社会福祉協議会 事業報告書

第1 法人運営

1 組織

平成28年度組織図（3月末現在）



職員総数
常勤 71 パート 34 計 105 人

2 会費

(1) 会費

・個人会費 1,000円 ・法人、賛助会員 3,000円

(2) 実績

・個人会費 8,836,400円 ・法人会費 619,000円 (157法人)
 ・賛助会費 75,000円 (4団体) ・合計 9,530,400円

第2 福祉基金保有高

前期末残高	当期取崩額	当期積立額	当期末残高
52,504,530円	0円	525,663円 〔 寄付金 508,570 利息配当 17,093 〕	53,030,193円

第3 会議・監査会の開催状況

1 理事会 (定数 15名)

	開催月日	出席者	議 題
第1回	5月16日	11	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告、決算 平成28年度補正予算(第1号) 評議員選任
第2回	12月15日	13	<ul style="list-style-type: none"> 定款の一部変更 ・定款細則の一部改正 評議員選任規程の一部改正 評議員選任・解任委員会運営細則の制定 就業規則 育児休業規則 介護休業規則一部改正 給与規程一部改正 ・有期契約職員就業規則一部改正 紫波町総合福祉センター管理運営規程一部改正 けやき学園運営規程の一部改正 就労継続支援事業所さくら製作所運営規程一部改正 平成28年度補正予算(第2号) 評議員選任・解任委員の選任
第3回	2月16日	14	<ul style="list-style-type: none"> 評議員候補者の推薦 評議員選任・解任委員会の招集
第4回	3月9日	13	<ul style="list-style-type: none"> 経理規程・職員給与規程の一部改正 指定訪問介護事業所運営規程の一部改正 平成28年度補正予算(第3号) 平成29年度事業計画、予算

2 評議員会 (定数 40名)

	開催月日	出席者	議 題
第1回	5月20日	27	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告、決算 平成28年度補正予算(第1号) 紫波町社会福祉協議会役員の選任

第2回	12月22日	30	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更 ・定款細則の一部改正 ・評議員選任規程の一部改正 ・平成28年度補正予算(第2号) ・紫波町社会福祉協議会長表彰 社会福祉事業功労者(役員・民生委員等) 12名 褒賞(在宅要援護者介護5年以上) 6名
第3回	3月29日	33	<ul style="list-style-type: none"> ・経理規程一部改正 ・平成28年度補正予算(第3号) ・平成29年度事業計画、予算

3 監査会

	開催月日	監査内容
第1回	5月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度1月～3月事業内容 ・平成27年度1月～3月定例監査 ・平成27年度決算監査
第2回	7月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度4月～6月事業内容 ・平成28年度4月～6月定例監査
第3回	10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度7月～9月事業内容 ・平成28年度7月～9月定例監査
第4回	1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度10月～12月事業内容 ・平成28年度10月～12月定例監査

4 評議員選任・解任委員会(定数4名)

役 割 評議員22名の選任及び解任

任 期 4年 平成29年2月21日～平成32年度定時評議員会終結の時まで

開催月日 平成29年2月21日(火)

5 社会福祉法人制度改革研修会

・実施日 11月21日(月) ・参加者 35名

・講師 岩手県社会福祉協議会 事務局次長 右京 昌久 氏

第4 福祉活動推進事業

1 広報

(1) 社会福祉協議会広報紙「社協だより」の発刊

社会福祉協議会事業の紹介の他、福祉情報を提供した。

・発行回数 6回(全世帯と法人会員に配布)

(2) 「福祉声のおたより」の発行

朗読ボランティア「銀の鈴」の協力を得て、広報紙をCDやカセットテープに録音し、視覚障害者へ提供した。

・録音項目 町広報、町議会報、社協広報

・会 員 8名

・利 用 者 11名

2 金婚を祝う会

長年、苦楽を共に歩んできた夫婦の結婚 50 周年を祝し、「金婚を祝う会」を開催した。

- ・期 日 11月20日(日) ・場 所 ラ・フランス温泉館 ホテル湯楽々
- ・参加者 8組、16名 ・記念写真、郷土芸能、虹保ビデオレター

3 福祉用具の貸出

(1) 車椅子貸出 (保有 13 台)

歩行困難者の日常生活支援のため、6ヶ月間を限度に車椅子を無料で貸出した。

- ・貸出延数 30台(町民22台、小学校8台⇒古館4、長岡4)
- ・貸出期間 1日0件、2～7日21件、8日～3ヶ月9件

(2) 福祉教育用具貸出

学校の福祉教育推進のため、福祉用具を無料で貸出した。

- ・貸出延数
 - 高齢者疑似体験セット(保有15セット) 2回(町2)
 - 白杖(保有39セット) 2回(日詰小1・紫波第一中学校1)
 - 点字器(保有39セット) 1回(古館小1)

4 日常生活自立支援事業の支援

障がい者や高齢者の金銭管理を支援した。

- ・利用者数 16名(3月末現在)
- ・生活支援員(紫波町担当) 3名(週1～2回訪問)

5 福祉団体活動支援

(1) 事務を受託している団体 (7 団体)

ボランティア連絡協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、母子寡婦福祉協会、更生保護女性の会、手をつなぐ親の会

(2) 子育て支援

就学前児童の子育てひろば(子育てサロン)を開催しているボランティアグループを対象として、スタッフの資質向上を図るための研修会等を開催した。ひろばの活動は地区公民館を拠点に、月1～2回親子の交流機会を開催。

- ・実施日 11月22日(火) ・場 所 紫波町総合福祉センター
- ・内 容 3つのひろば運営者と女性議員との懇談会
- ・参加者 17名

第5 ボランティアセンター事業

1 手話講座

ろうあ者相談員の講師により、手話講座を福祉センターで開設した。

- ・実施日 毎月第2、第4土曜日 ・登録人数 14名

2 お話し相手ボランティア

高齢者はつつつサロン「ふれ愛交流館」のボランティアとして活動した。

- ・実施日 毎週火～金曜日
- ・場所 総合福祉センター
- ・登録人数 1名

3 配食ボランティア

65歳以上一人暮らしや、概ね75歳以上の夫婦世帯におかずを届けながら見守りの安否確認も行いながら、年間51回昼食配食のボランティア活動を行った。

- ・利用者 51名
(日詰13、古館9、水分・志和5、赤石8、彦部8、佐比内7、赤沢0、長岡1)
- ・ボランティア登録人数 44名

4 高齢者サロン「いこいの家」ボランティア

各地区の「いこいの家」運営に、ボランティアとして携わった。

- ・お世話延べ人数 2,655名
- ・開催回数 449回
- ・利用者総数 6,906名

5 ボランティア活動保険加入状況 (合計 2,404名は前年比+402)

区分	団体加入	個人加入	加入者計
基本タイプ	44団体 2,320名	1名	2,321名
天災タイプ	1団体 28名	4名	32名
行事保険タイプ	2団体 51名	0名	51名

6 東日本大震災等被災地支援

(1) 沿岸被災地活動への支援

町内の団体が沿岸被災地でのボランティア活動実施した際に、活動経費を支援した。

- ・団体数 4団体 (赤石地区公民館、ボランティア2団体)
- ・活動内容 沿岸被災地でのサロンを開催し被災者との交流を深めた。
- ・活動回数 延4回
- ・支援内容 バス借り上げ料

(2) 台風10号豪雨被災地への支援

豪雨被害が大きかった宮古市新里地区と岩泉町小川地区への復旧支援を行った。

- ・ボランティアバス運行 2回
9月14日(水) 新里地区 17名 (町外4名、町内13名 内職員6名含む)
10月16日(日) 小川地区 16名 (町外2名、町内14名 内職員7名含む)
- ・ボランティアセンター運営支援の職員派遣
新里地区 9月10日～9月30日 11日 延べ16名
小川地区 10月1日～10月30日 12日 延べ12名

(3) 被災地への義援金支援

- ・熊本地震災害義援金 4月25日～6月30日 ・支援金 63,687円
- ・台風10号災害義援金 9月2日～10月31日 ・支援金 98,435円

第6 共同募金配分事業

1 地域交流イベント「ふれあいフェスタ」

障がい者と健常者がお互いの立場を理解し交流を深めるために開催した。

- ・実施日 9月24日(土) 10:00~14:00
- ・場 所 オガールプラザ内「紫波町情報交流館」
- ・内 容 コンサート(出演 10団体 町内5団体、町外5団体)
体験・展示(参加 15団体 販売・軽食(出店 17団体))
- ・福祉団体 虹の保育園児、けやき学園・さくら会・平和台病院、手話講座等の遊戯やコーラスの発表。

2 ボランティア協力校の指定

町内小・中学校全校及び紫波総合高校をボランティア協力校に指定し、ボランティア活動の推進に努めた。

- ・活動助成金 40,000円×15校=600,000円
- ・活動内容 キャップハンデーター体験、高齢者との交流、環境整備、施設訪問

3 各種団体助成

福祉関係団体への助成を実施した。

- ・地区社協 9地区 920,000円
- ・子育て支援ボランティア 3団体 70,000円
- ・福祉団体 7団体 1,275,000円
- ・その他 3団体 220,000円

第7 紫波町受託事業

1 無料相談事業「ふれあい相談所」

住民の抱えている課題解決に援助、協力するため、無料相談所を開設した。

- ・実施日 毎月第1水曜日、弁護士毎月第3水曜日
- ・場 所 福祉センター団体室
- ・相談員 人権擁護委員6名、弁護士1名
- ・件数内訳

生 計	年 金	職業・生業	住 宅	家 族	結 婚
1	0	2	3	12	0
離 婚	健康・衛生	医 療	精神衛生	人権・法律	財 産
8	0	1	0	6	27
事 故	児童・母子保健	教育・青少年	心身障害者	母子・父子福祉	高齢者福祉
2	0	0	0	0	1
苦 情	日常生活自立支援	その他			合 計
0	0	0			63

2 移送サービス

車椅子利用者等で一般の交通機関の利用が困難である高齢者や障がい者（町認定者）を対象として、病院や福祉施設等へ移送する有償のサービスを実施した。

- ・利用登録者数 82名
- ・利用延べ回数 548回
- ・運転手 3名
- ・専用車両 3台

3 元気はつらつサロン「ふれ愛交流館」

介護保険要支援に準じた高齢者（町認定者）を対象に実施した。

- ・開設日数 195日（火曜日～金曜日）
- ・開設場所 福祉センター
- ・登録者数 39名（3月末現在）
- ・延べ利用者数 1,410名（前年度1,518名）
- ・実施内容 健康管理、趣味創作、給食、季節行事他

4 高齢者サロン「いこいの家」助成事業

町内のひとり暮らし老人や老夫婦世帯の孤独感解消や健康保持を目的に、ボランティアが実施する高齢者サロン事業「いこいの家」に、補助金を交付した。

- ・交付額 1回3,400円（財源内訳 町2.4千円、社協1千円）
- 町助成金は前年度2,200円/回で400回分。H28年度は回数制限なし。

・地区別開催状況

日 詰	古 館	水 分	志 和
15箇所 85回	6箇所 45回	7箇所 30回	15箇所 85回
赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢
14箇所 46回	7箇所 40回	10箇所 42回	8箇所 33回
長 岡	合 計		
10箇所 43回	92箇所 449回		

5 高齢者ふれあい交流会

65歳以上の一人暮らし老人及び共に75歳以上の二人暮らし世帯を対象に、次の事業を実施した。

(1) 日帰り温泉旅行

- ・実施月日 10月25日（火）
- ・場 所 ホテル志戸平
- ・参加者 127名参加
- ・運営協力者 民生児童委員
- ・事業費 833,000円
- ・利用者負担金 332,200円

(2) 配食サービス

毎週金曜日に昼食弁当をボランティアが配布した。

- ・利用者 51名（3月末現在）
- ・利用者負担 1食300円
- ・実施回数 52回
- ・配食総数 2,846食
- ・受託料 569,200円
- ・利用者負担 853,800円
- ・事業費 1,413,481円
- ・事業者支払 1,204,000円

6 生活指導員派遣事業（ホームヘルパー派遣）

介護保険要支援に準じた高齢者（町認定者）を対象に、ホームヘルパーを派遣した。

・利用実績

（単位：人、回、時間）

年度 区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
派遣対象	12	9	8	8	6	5
派遣回数	640	576	562	481	453	316
派遣時間	696	641	594	521	486	299

・受託金額 487,800円 派遣対象者は年度末の実績

7 障害者外出介助事業（ガイドヘルパー派遣）

障がい者（町認定者）を対象として、ガイドヘルパーを派遣し、外出介助を実施した。

・利用者数 5名（前年度3名） ・派遣回数 155回（前年度140回）

・派遣時間 485時間（前年度436時間）

8 障がい者スポーツ交流会

障がい者の体力増強、交流を目的にスポーツ交流会を実施した。

・実施時期 12月3日（土） ・実施場所 マツハラランド

・実施種目 ボウリング ・参加者 当事者とスタッフ49名

9 虹の保育園

指定管理者として紫波町立虹の保育園を運営した。

※事業実績は別添のとおり

10 地域子育て支援センター

紫波町立虹の保育園に併設している地域子育て支援センターを運営した。

※事業実績は別添のとおり

第8 資金貸付事業

1 たすけあい金庫

緊急出費を要し、援護の必要がある方を対象として資金貸付を実施した。

・利用限度額 50,000円 ・当期利用状況 4件、110,000円

2 生活福祉資金（県社協委託事業）

資金名		件数	貸付総額	貸付限度額
当期決定貸付総額		18件	14,732,000円	
内	緊急小口資金	7件	517,000円	100,000円
	福祉資金	5件	3,291,000円	対象経費による

訳				50万～580万円
	総合支援資金	0件	0円	単身15万、2人～20万
	つなぎ資金	0件	0円	必要最小限
	教育支援資金	6件	10,924,000円	

※前年度 27件 14,461,000円

第9 介護保険事業

1 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

介護保険において要介護認定を受けた方の介護サービス計画（ケアプラン）の作成、見直し及び介護サービスに関わる連絡・調整等を実施した。

- ・利用者数（3月実績） 140名 要支援15名含む。（前年度118名）
- ・介護支援専門員数 5名（前年度5名）
- ・総収入額 18,239,024円（前年度14,555,880円）
- ・特定事業所加算Ⅲ取得（条件 常勤職員3名、主任介護支援専門員1名）
平成28年11月取得 加算額 3,000円/1人1カ月

2 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

要介護認定者へ訪問介護サービスを提供した。

・利用実績

（単位：人、回、時間、千円）

年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
区分							
	契約者数	102	124	115	115	108	105
実利用者数	要支援1	7	9	3	7	5	6
	要支援2	18	23	20	17	20	14
	要介護1	23	25	29	31	29	29
	要介護2	18	28	30	28	18	23
	要介護3	10	10	12	18	20	18
	要介護4	14	16	10	6	3	7
	要介護5	7	11	10	5	8	4
	計	97	122	114	112	103	101
派遣回数	身体介護	8,270	9,044	8,342	6,698	6,693	6,940
	生活援助	5,266	5,413	6,541	6,752	5,740	4,286
	身体・生活	1,713	1,511	2,001	2,390	1,959	1,997
	介護予防	307	361	389	266	308	346
	計	15,556	16,329	17,273	16,106	14,700	13,569
派遣時間	身体介護	5,692	5,883	5,243	4,044	4,130	4,444
	生活援助	5,688	4,825	3,281	6,590	5,705	4,184
	身体・生活	2,235	2,183	6,294	3,676	2,739	2,790

	介護予防	1,790	1,863	1,712	1,258	1,342	1,334
	計	15,405	14,754	16,530	15,568	13,916	12,752
収入額(介護報酬)		48,372	52,385	54,322	51,275	45,860	44,050

第10 障害者総合支援事業

1 障害者居宅介護事業（ヘルパー派遣）

障害者総合支援法における利用者へ居宅介護サービスを提供した。

・利用実績 (単位：人、回、時間、千円)

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
派遣対象者数	17	18	21	14	16	18
派遣回数	2,256	2,457	2,937	2,693	2,278	2,271
派遣時間	2,521	2,701	2,824	2,287	1,985	2,271
自立支援費収入	7,943	8,356	9,131	7,879	6,034	7,538

第11 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の推進

1 赤い羽根共同募金

(1) 募金運動

・運動実施期間 10月～12月 ・募金実績額 6,118,640円

(2) 災害見舞金交付

・火災 1件 1万円（住家半焼以上） ・火災による死亡 1件 2万円

(3) 福祉支援事業助成（1件5万円限度）

・決定団体数 7団体 ・助成金額 317,000円

(4) 社会福祉協議会が行う事業へ助成

・事業数 5事業 ふれあいフェスタ、いこいの家、社協だより
ボランティア協力校、障害者団体等活動への助成
・助成金額 4,107,000円

2 歳末たすけあい運動

低所得世帯や母子・父子世帯や常時介護を要する方に、義援金を配分した。

・運動実施期間 10月～12月 ・募金実績額 5,109,425円

・配分額 4,236,000円

・配分内訳

区分	世帯・人員	単価	金額	
要保護世帯	高齢者・母子・遺児等世帯	387世帯	9,500円	3,676,500円
常時介護を要する個人	寝たきり・認知高齢者、重度障害者	140人	4,000円	560,000円

第12 団体事業への支援

1 2016 希望郷いわて大会オープン競技ゲートボール紫波大会

- ・実施日時 10月22日～23日 ・参加チーム 24(県外9、県内15)
- ・主催 岩手県身体障害者福祉協会・選手154名、役員等80名
- ・協力団体 町身体障がい者福祉協会、民生児童委員、町ゲートボール協会
- ・総事業費 1,635,301円(協賛金458,600円、町150,000円)
- ・経済効果 2,040,000円

2 岩手県更生保護女性の集い

- ・実施日時 7月6日(水) ・参加者 570名
- ・主催 岩手県更生保護女性連盟 ・共催 矢巾町、紫波町
- ・主管 紫波地区更生保護女性の会
- ・後援 矢巾町社会福祉協議会、紫波町社会福祉協議会
- ・総事業費 563,000円
- ・顕彰
東北地方更生保護委員会委員長感謝状 9名
東北地方更生保護女性連盟会長表彰 50名
市町村長感謝状 107名
盛岡保護観察所長感謝状 70名
岩手県更生保護協会理事長 27名
- ・清興 虹の保育園 園児のさんさ太鼓
- ・講演 野村胡堂・あらえびす記念館 館長 野村 晴一 氏

るよう働きかけた。

④絵本による豊かな心情作りを実施

好きな本を存分に読むことができるように、図書のコナーを毎日、終日開放。送迎時に親子でゆっくりと絵本に親しむ環境を提供した。夕方の送迎時に設置したベンチで絵本を一緒に読む親子が毎日見られるようになった。

また、読み聞かせのボランティアを招き、2歳児から5歳児までの児童に本の楽しさを伝えた。

⑤畑での野菜の栽培を実施

幼児部を中心として、子どもたち自身で苗や種から野菜の栽培をし、成長の過程を観察し収穫もした。また、給食担当者とともに収穫野菜を利用し、年長児、年中児を中心に調理体験を行った。

乳児については、野菜の苗を老人クラブの方に植えていただき、収穫の楽しさを体験した。

年長児については、地域の方に教えられながら、味噌作りについて栽培から収穫、加工まで、一年を通して取り組んだ。また近隣農園の協力により田植えを体験した。

⑥英語体験の実施（毎月2回）

4, 5歳児を対象に外国人講師による英語に触れる機会を設け、ことばに対する興味や面白さを伝えた。

2 特別保育実施状況

(1) 延長保育

月曜日から土曜日まで開設時間を、延長し保育を実施。

- ・時 間 午後6時～7時
- ・利用者 利用登録延べ人数36名（平成29年3月末日33名）
利用延べ人数3,120名（平成28年4月～29年3月）

(2) 一時保育

児童を対象に、時間単位での預かり保育を実施。

年 度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用人数	871	670	860	607	1009	648	256	423	374

(3) 休日保育

日曜日、祝祭日に保育を実施

年 度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用人数	18	22	114	145	126	71	42	117	127

3 防災訓練・交通安全教室等実施状況

災害発生時に備え、職員、在園児、子育て支援センター利用者、一時保育利用児全て 対象に毎月様々な想定での訓練をし、災害時への対応について啓発活動を行った。

また、職員については消防署員の指導を受けながらの初期消火訓練を年に2回行った。また、25年度より緊急時に迅速に対応できるよう AED を自園内に設置し、消防署員による

心肺蘇生法の訓練を実施した。防犯訓練については、不審者を想定した訓練を実施。非常時の備蓄物については、27年度に引き続き、消費期限の確認と更新を行った。

- | | | | | |
|---------|-----|--------------------------------------|----------|----|
| ①避難訓練 | 12回 | (火災想定 6回 地震2回 地震～火災想定 2回
水害想定 2回) | | |
| ②初期消火訓練 | 2回 | | ③交通安全教室 | 3回 |
| ④防犯訓練 | 1回 | | ⑤不審者対策訓練 | 1回 |
| ⑥心肺蘇生法 | 2回 | | ⑦土曜日避難訓練 | 3回 |

4 給食実施状況

(1) 給食実施結果

厚生労働省が示している食事摂取基準に基づいて乳幼児にとって適切な給与栄養量を確保できるよう、子どもの発育、発達状況や家庭環境、栄養状態を考慮しながら年間の食育計画を立案した。また、0歳児については入所の月齢を基準とし、家庭と連絡をとりながら、個々の成長に合わせた離乳を進めた。

また、給食についての嗜好調査を行い、日々の献立や調理法の参考とした。

(2) 家庭への食育啓発

①献立表の配布

毎月0～2歳児及び3～5歳児の献立表を入所児の家庭に配布した。

また、毎月、食事だよりを発行し、季節に合わせた食材や行事食についての提案を行った。

②給食サンプルの展示

乳児用、幼児用の給食サンプルを玄関ホールに展示し、保育園への送迎時に保護者が実際に見ることにより、子どもの食事について認識を深められるようにした。

③誕生会昼食会

誕生会の昼食は完全給食(主食、副食)を実施し、3歳から5歳児までの園児がともに食事をした。また、誕生月の年長児の保護者は希望により会食に参加していただいた。

④弁当昼食会

保護者の協力のもと、月に1回弁当持参の日を設定し、戸外での昼食に出かけ、子どもたちが家庭の味の良さを実感する機会を作った。また、弁当を喜んで食べる子どもの姿を伝えることにより、保護者に手作りの良さを実感する機会を設けた。

⑤食事マナーの習得

集団で食事をする中で、どのようにしたら、互いが快く食事ができるかを子どもたちとともに考え、個々の成長、年齢によって食事のマナーを伝えた。

⑥地産地消の推進

産直の野菜など地場産物を積極的に取り入れた昼食を子どもたちに提供した。また、県産小麦を使用したパン、郷土のおやつなど、完全手づくりによる提供に努めた。

⑦調理の取り組み

給食担当者の指導により、年長児を中心に年齢を考慮した簡単な調理を体験した。

5 衛生状況

(1) 給食安全管理

給食安全管理に基づき安全な調理を実施した。

(2) 職員細菌検査

- | | |
|---------------------|------------|
| ・全職員 | 年1回（4月に実施） |
| ・調理及び、乳児担当者、調乳担当職員、 | 毎月1回実施 |
| ・調理担当職員ノロウィルス検査 | 11～3月実施 |
| ・検査結果 | 異常なし |

(3) アレルギー除去食の提供

乳製品、卵、木の実、等食品についてアレルギー症状を示す乳幼児についてクラス担任と栄養士、調理師が連携を取りながら、医師による診断書に基づき保護者と相談の上、個別に献立を作成し、除去食を提供した。

(4) 食材の放射能濃度の測定

安心、安全な給食を児童に提供するため、毎月1回食材の放射能濃度を測定し、結果についての周知を図った。

6 児童の健康診断実施状況

児童の内科健診を年に2回（5、10月）…0歳児～5歳児対象

歯科健診を2回（6月、11月）…0歳児～5歳児対象

7 保護者との連携

(1) 父母の会

定期的に役員会を開催し、連携を深めるとともに、諸行事運営、草刈りや園内清掃等の環境整備にご協力をいただいた。

また、講師を招いて、父母の会主催の親子講演会（読書会）を開催した。

(2) 保護者

送迎時に保育実践の場面での出来事を通して、保護者と対話を持ち、個人連絡帳を活用しながら、より細やかなコミュニケーションを図った。

また、保育参観日やクラス懇談会を開催し、保育内容の公開、育児相談、意見交換などを実施することにより、保育士と保護者、保護者同士の交流の場を作った。

8 地域交流

(1) 異世代間交流

① 支援センター高齢者ボランティアグループ「そよかぜクラブ」との交流

- ・畑作り、栽培、収穫を楽しんだ
- ・みずき団子づくりを2歳児、3歳児と行った。
- ・ひな饅頭作りを3、4、5歳児と行った。
- ・手作り人形劇を誕生会で行った

② 日々の保育場面での小中学生とのふれあい交流を実施した。

③ 志和地区の高齢者クラブの協力により、地区の高齢者を園にお招きして、園児と遊

びの時間を通して交流を図った。

- ④前年度卒園児の同窓会を開き、卒園前に仕込んだ味噌を使って、お握りを作り皆で味わった。

(2) 関係団体との交流

- ①読みきかせボランティア「おはなしの森」によるお話会の実施。
- ②地域祭りでの山車ひき参加、地域行事「夏祭り」への参加
- ③ふれあいフェスタ、敬老会、紫波町産業まつり、金婚を祝う会へはビデオレターにより出演。
- ④滝名川での鮭の稚魚放流
- ⑤近隣老人介護施設入所者との交流（七夕、クリスマス）

(3) 普及、啓発活動

- ①夏祭り、運動会、発表会等の諸行事の案内、ポスター掲示
- ②保育園便りを社協広報へ掲載
- ③更生保護女性の会総会でのさんさ太鼓演奏
- ④地元祭りでのさんさ太鼓演奏
- ⑤要望企業へ園児の絵画を掲示
- ⑥保育の様子、行事等園便りとして保護者に配布
- ⑦社協ホームページに園行事等について掲載
- ⑧健康及び感染症に関する保健だよりの発行
- ⑨給食便り、献立表の発行

9 職員資質向上のための研修

- (1) 園外各種研修会への参加各種研修会への参加
町内保育施設年齢別研修への参加
役場こども課カリキュラム委員会への出席（主任保育士）
- (2) 園内研修の実施
 - ・リズム遊びの進め方について（27年度から継続）
 - ・事故事例から学ぶ
 - ・職員のレクリエーション（スポーツ吹き矢）
 - ・子どもたちにとって安全な保育環境を整える

10 諸会議の開催及び参加

- (1) 職員会議
 - ①職員全体会議、組リーダー会議を毎月1回実施。
 - ②給食担当者会議、乳児部、幼児部リーダー会議を必要に応じ実施。
 - ③乳幼児部連絡会議を毎週1回実施。
- (2) 関係機関の会議への参加
 - ・紫波町こども課定例会議
 - ・岩手県社会福祉協議会保育協議会常任委員会

11 視察、実習生の受け入れ

(1) 視察	4団体	43名
(2) 保育士養成学校生保育実習	1校	2名
(3) 社会福祉援助技術実習	1校	1名
(4) 小中学校生徒保育体験	4校	108名
(5) 学生ボランティア	1校	1名

平成28年度

地域子育て支援センター事業報告書

1. 子育て親子の交流の提供と交流の促進

就学前の在宅の親子を対象に、子育て不安の解消や保護者同士の交流の場を提供した。

(1) 赤ちゃん広場

- ・実施日 毎週火曜日 9:00～12:00
- ・対象 1歳未満の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども312名、母227名、父2名、祖母4名 その他12名
- ・内容 親子でゆっくりと過ごすことを中心とし、母親同士の交流の場を図る。
保育士による手あそび、親子のスキンシップ体操、触れ合い遊び
絵本や紙芝居の読み聞かせ、

(2) びよびよ・わくわく広場

- ・実施日 毎月木曜日 9:00～12:00
- ・対象 1歳から2歳までの就園前の乳児と保護者
- ・延参加者数 子ども211名、母170名、祖母5名、その他2名
- ・内容 親子でゆっくりと過ごしながら子ども同士でのあそびを楽しむとともに
親同士の交流を図る。
保育士による手あそびや歌あそび、乳幼児向けの体操や絵本や紙芝居の
読み聞かせ、簡単な製作活動の実施。

(3) キッズガーデン

- ・実施日 毎月第4月曜日 10:00～12:00
- ・対象 0歳から就園前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども34名、母21名、
- ・内容 保育士とともに親子で保育園園庭で遊ぶ。

(4) すくすく広場

- ・実施日 主に毎月第1, 3水曜日 9:30～11:00
- ・対象 0歳から就園前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども5名、母3名
- ・内容 紫波町内の保育施設の開放。
親子で施設の遊具などを利用しながらゆっくりと過ごす。

(5) 親子の広場

- ・実施日 毎週月曜～金曜日 12:00～17:00
毎週土曜日 9:00～15:00
- ・対象 0歳から就学前の乳幼児と保護者
- ・延参加者数 子ども155名、母107名、祖父母1名、父2名、小学生21名、
その他3名

- ・内 容 親子でゆっくりとあそぶことができ、時間内であれば自由に立ち寄る場所として開放する。

2. 子育て等に関する相談・援助の実施

- ・実 施 日 毎週月～金曜日 9：00～17：00 毎週土曜日 9：00～15：00
- ・対 象 子育て中の親またはその関係者
- ・内 容 来園または電話による相談
園の看護師、栄養士、重点的な支援が必要と判断された親子（家庭）については町内支援センター、保健師、役場担当課との連携と協働をはかりながら対応。

・相談実績

相談内容	件数
基本的な生活習慣	37
発達・発育	0
しつけ育児	3
医学的問題	1
行政・保育所・幼稚園	7
一時預かり	4
その他	5
合計	57

3. 地域の子育て関連情報の提供

子育て中の親子が必要とする身近な地域の子育てについての様々な情報を提供した。

- ・しわっせ、子育て支援ひろば、また保健センター同士、情報の交換・連絡・共有をし、広場開設時に利用者に提供した。
- ・研修・経験などで得られた専門知識を広場開設時に提供した。
- ・センター通信を発行した。（センター予定表・子育て情報・食育情報を各1回/月）
地域の方々にもセンターの情報を知っていただくためにセンター予定表を配布した。
（志和公民館、水分公民館、上平沢郵便局、社会福祉協議会等）

4. 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・広場開設時における親子体操、絵本の読み聞かせ、製作等の実施 各8回/月程度
- ・給食試食会の実施 1回/月 延べ参加人数 子ども11名、大人10名
- ・離乳食ミニ講座 1回/月 延べ参加人数 乳児16名、大人16名
- ・自然観察の会の実施 1回/年 延べ参加人数 子ども10名、大人7名
- ・救命救急法講座 1回/年 延べ参加人数 子ども12名、大人16名
（保健センター合同）
- ・わらべうたの会実施 1回/年 延べ参加人数 子ども13名、大人11名
- ・子ども音楽教室 1回/年 延べ参加人数 子ども16名、大人10名

5. 地域支援活動の実施

(1) 子育て支援ひろば

①ボランティアグループ（にこにこひろば合同）

- ・実施日 7回/年 延べ参加人数 子ども 45名、大人 53名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 にこにこひろばへ出向き、親子に遊び方を提供、又は託児。

②レッツゴー広場（しわっせと合同）

- ・実施日 2回/年 延べ参加人数 子ども 22名、大人 19名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 彦部公民館、紫波中央公民館へ出向き、親子に遊び方を提供。

③夏祭り（しわっせと合同）

- ・実施日 1回/年 延べ参加人数 子ども 88名、大人 105名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 サンビレッジでお店屋さんごっこを提供。

④運動会（しわっせと合同）

- ・実施日 1回/年 延べ参加人数 子ども 68名、大人 67名
- ・対象 0歳から就園前の子どもとその保護者
- ・内容 サンビレッジで運動あそびを提供。

6. 世代間交流

(1) 高齢者ボランティア講座【そよかぜクラブ】の開催

支援センターを拠点とし、地域の高齢者と広場参加者、在園児との交流を実施した。

- ・実施日 毎週金曜日 9:00～12:00
製作や行事、畑手入れ等により実施日を増やす月もあった。
- ・対象者 保育園近隣在住の高齢者
- ・内容 園や支援センターの畑づくり、乳児用エプロン作り、発表会プレゼントづくり、運動会のメダル作り、卒園児へのコサージュづくり、在園児との行事参加や交流（みずき団子、節分、ひなまつり）
手作り人形劇公演 3回（園内行事、しわっせ、矢巾ゆりかご）
- ・登録者数 11名（延べ参加人数 333名）

(2) 卒園児との交流（ホームカミングデー）

卒園後の子どもたちの見守りの試みとして計画をたて、実施した。

- ・実施日 1月6日（金） 15:00～17:00
- ・内容 みそおにぎり作り、在園児との交流
- ・参加者数 小学生21名、大人11名、

7. 特別支援活動の実施（たんぽぽルーム）

特別な支援が必要な子どもを含め、すべての子またはその保護者が集う場を提供した。

- ・実施日 7/年 延べ参加人数 子ども119名 保護者77名
- ・対象者 町内外の乳幼児から中学生とその保護者
- ・子ども活動内容 タグラグビー・ボウリング、カラオケ（電車に乗って盛岡へ）
クリスマス会・お楽しみ会
・大学生ボランティアの協力を得た。

平成28年度

けやき学園 事業報告書

障がいのある方への生産活動の提供と生活介護事業を展開し、作業訓練や自治会活動などを通して、個々の能力及び適性に応じて次のような事業を実施した。

1 事業所運営に関すること

(1) 利用登録者数について

- ・利用定員 50名（就労継続支援B型事業44名、生活介護事業6名）
- ・当期末登録者数 46名（B型38名、生活介護8名。男性24名、女性22名）
（紫波町39名、矢巾町2名、花巻市5名）
- ・平均年齢 38.0歳（男性34.0歳、女性42.3歳）

(2) 開所日数

- ・年間開所日数 241日（前年度より2日増）
- ・月平均開所日数 20.1日

(3) 利用者数

- ・年間延べ利用者数 9,868名（前年度より66名減）
- ・1日の平均利用者数 40.9名（前年度より0.7名減）

(4) 職員体制について

- ・常勤職員 16名
- ・パート職員 1名

(5) 事業稼動について

- ・生産活動の機会を提供する就労継続事業、訓練作業や情操活動等を取り入れた生活介護事業において、利用者個々の適性に合わせた支援に努めた。
- ・相談支援事業においては、関係機関と調整を図りながら事業実施した。

(6) 運営費収入について

自立支援給付費収入 70,993,000円（前年度より2,271,680円増）

2 利用者支援に関すること

(1) 個別支援計画の作成および記録の整備について

- ・利用者本人の意向を尊重し、作業及び基本的な生活を保つために、支援計画書を前後期計2回作成し、支援方策の反映に努めた。
- ・利用者個々の日常に関する記録（ケース記録）の整備に努めた。

(2) 生産活動について

①生産活動の成果について

- ・個々の能力に応じた適正作業に結びつけられるよう支援に努めた。
- ・複数の作業種に関われるよう、利用者本人の意向に沿いながら、所属作業科以外での作業を体験できるよう適宜調整を図った。
- ・作業収入が前年度に比べて増額となった。いわて国体をはじめとする販売機会が

例年より多く設定できたことによる。

印刷科	4,062,439円	手拭、タオル、Tシャツ、ジャンパー等の印刷 (前年度より234,542円増)
障子襖科	3,058,100円	障子ふすま及び網戸の張り替え (前年度より402,500円増)
園芸科	1,222,238円	花苗と寄せ植え販売、花壇用花苗の注文販売、産直出荷 (前年度より157,636円減)
受託科	1,596,605円	調味料容器のキャップ締め、菓子袋のシール貼り、部品組立、ペットボトルキャップ選別とペレット製造、他 (前年度より148,293円減) 参考) キャップ回収量2,956kg (前年度2,669kg)
計	9,939,382円	(前年度より331,113円増)

・希望郷いわて国体並びにいわて大会における販売売上げ … 709,469円

②利用者への工賃支給について

- ・年間工賃支給総額 4,449,940円 (前年度より161,080円増)
- ・一人当たり月平均支給額 8,829円 (前年度より320円増)

③売り上げ向上への対策について

- ・町内産直施設や商業施設、イベント等へ出荷出品するなど、販路の拡大に努めた。
- ・希望郷いわて国体並びにいわて大会会場における直接販売の実施、委託販売(県社協の共同受注事業)、仕入れ販売による販売品目を増やしての販売活動に努めた。
- ・広報への記事掲載、公共施設に受注宣伝のチラシを常置する等の対策を講じた。

(3) 生活介護事業について

- ・健康維持を目的としたウォーキングと運動施設等での活動が定着し、より意欲的な活動ができるよう月予定と週予定を提示しながら、家庭連絡及び職員間で連携を図りながら実施した。

(4) 給食提供と健康支援について

- ・定期的に体重測定と嗜好調査を行い、健康支援と昼食メニューに反映させた。
- ・国内及び地元産の食材を使用することを基本に、栄養価基準に則り、減塩に努めた食事提供を行った。利用者希望メニュー59回、郷土料理44回を提供した。
- ・健康診断を6月、11月の2回実施した。
インフルエンザ予防の集団接種を実施した結果、1名の罹患に止まった。

(5) 行事、クラブ活動等について

①行事等

- ・行事内容が利用者の負担とならないよう、また行事の実施日前後における作業量の調整を図りながら計画立案を進めた。

②クラブ活動

利用者の情操と健康維持を目的に、下記の活動メニューから選択していただき、外部講師の協力を得ながら各活動を月1回実施した。

- ・音楽クラブ 希望者30名(6月から「ふれあいフェスタ」まで月2回実施)
- ・3Bクラブ 希望者23名

- ・水中運動クラブ 希望者 18 名
- ・軽運動クラブ 希望者 29 名

③その他

- ・インターネット閲覧の日を週 2 回設定した。

(6) 本人活動・自治会活動への支援について

①会議運営の補助

- ・日常の生活の改善点や行事に関して利用者の意向を吸い上げるよう努めた。

②日常の係活動や行事企画への補助等

(7) 就労体験について

- ・にいやま荘グループホームでの喫茶催しにおいて、職場体験を希望している利用者を対象とした体験実習を 3 回、7 名の参加で実施した。また、県単位団体の大会や公民館まつりにおける販売機会に恵まれ、価値ある販売体験となった。

3 その他の事業・活動について

(1) 交流会、関係団体行事への参加

- ・各種団体との交流会を実施し、各種スポーツ大会へも積極的に参加した。

(2) 苦情解決及び相談業務について

- ・利用者からの不安や悩みについて職員間で共有し合い対応に努めた。
- ・保護者からの要望も含めて、迅速な対処対応および改善に努めた。

(3) 利用者の通院付添サービスについて

- ・本人或いはご家庭での通院対応が困難な利用者への通院付添の対応を行った。

(4) 会議の開催について

- ・月単位と週単位での会議及びミーティングにおいて、利用者対応や行事等の円滑実施、事故防止対策を図る等の協議を深めた。

(5) 職員の研修について

- ・施設外研修に出席した職員による口頭復命を行い、職員への内容周知に努めた。
- ・利用者とそこご家族、発注者や業者との間でのトラブル防止のため、検証を重ねる機会を設けた。改善と点検の視点を常時持つという意識がより高まった。

(6) 防災訓練の実施について

- ・年 2 回の避難訓練を実施し、消防署職員からの助言をその後の訓練に反映させた。

(7) 実習と見学者の受け入れについて

①支援学校等からの実習生受け入れ	4 名 (3 校)
②学校機関からの体験・実習の受け入れ	13 名 (5 機関)
③支援学校や団体等の視察他の受け入れ	11 団体 (65 名)

(8) その他

- ・台風被害の地域、施設 3 ヲ所への支援活動 11 日間

平成28年度

さくら製作所 事業報告書

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会・生産活動その他活動の機会を提供し、知識及び能力の向上に必要な訓練等を適切かつ効果的に行うことを目的に、各種事業を実施した。

1 事業所運営に関すること

- | | |
|---|---|
| (1) 利用登録者数について | 定員 20 名 |
| ①当期末 登録者数 | 18 名 (男性 6 名、女性 12 名)
(紫波町 16 名、矢巾町 2 名) |
| ・平均年齢 | 43.1 歳 |
| ②年間の移動状況 (新規利用者 4 名・就労及び他施設者数 2 名・退所者数 3 名) | |
| ③日中一時支援当期末 登録者数 | 0 名 |
| (2) 事業所開設日数 | |
| ①年間延べ開所日数 | 247 日 (前年度より、3 日減) |
| ②月平均開所日数 | 20.5 日 (前年度より、0.5 日減) |
| (3) 利用者数 | |
| ①年間延べ利用者数 | 3,384 名 (前年度より、557 名減) |
| ②1 日の平均利用者数 | 13.7 名 (前年度より、2 名減) |
| (4) 職員体制 | |
| ①常勤職員 | 4 名 |
| ②臨時パート職員 | 5 名 |
| (5) 運営管理について | |
| ①関連機関との連絡調整会議等参加
(支援会議等) | 40 回 |
| ②県内外研修会参加 | 17 回 |
| ③避難・防火訓練実施 | 2 回 |
| (6) 運営費収入について | |
| ①自立支援費収入総額 | 26,334,060 円 (前年度より、4,400,390 円減) |

2 利用者支援に関すること

(1) 個別支援計画 (日常生活・就労支援他) の作成

定期面談を実施し、個人ごとに本人の意向を重視した支援計画を作成した。

(2) 一般就労の推進

就労希望者に対して、ハローワークや就労支援に関わる関係機関と連携し、就労に向けた支援を実施した。

- | | |
|------------------|-----|
| ①平成 28 年度の一般就労者数 | 2 名 |
|------------------|-----|

(3) 嘱託医による健康診断の実施

①実施回数 2回

・インフルエンザの予防接種（年1回）を集団で実施している。

(4) 余暇活動（食事会・軽体操・創作活動他）

外部講師等の協力を得ながら趣味創作活動を定期的の実施した。

① 実施回数 46回

3 生産活動の状況

(1) 生産活動の成果について

・個々の能力に応じた適性作業に結びつけられるよう支援に努めた。

区 分	総売上高	作 業 内 容
受注作業部	1,321,536円	調味料のミニボトルのキャップ、工業関係部品の組立、印刷、フルーツキャップ、農業関係手伝他 (前年度より、439,846円減)
外販促進部	1,309,458円	各種イベント販売他 (前年度より、379,763円増)
就労促進部	697,423円	メール便の配達他 (前年度より、397,827円増)
計	3,328,417円	(前年度より、337,744円増)

(2) 利用者工賃支給について

①年間工賃支給総額 2,411,680円(前年度より、116,494円減)

一人当たり月平均支給額(ボーナス含み) 11,269円(前年度より、1,375円減)

・内訳 (工賃 7,005円、ボーナス 4,264円)

4 その他の事業・活動について

(1) 送迎サービス

①送迎サービス利用者数(当期末現在) 15名

(2) ボランティア、地域交流、レクリエーション行事への参加

(3) 苦情解決

当事者等からの苦情(不安や悩みを含む)に適切に対応し、今後の事業所運営に反映させる事に努めた。

(4) 事業所利用体験実習、視察、学生体験実習等の受入

①年間事業所見学者数(当事者他) 29名

②年間事業所利用体験者数(当事者) 3名

③年間ボランティア等受入数(学生他) 16名